

庭園用節句幟セット

N-03
(スタンド式)

部品の名称

- ① 軸付回転球・・・1ヶ
- ② 回転球キャップとリング・・・1ヶ
- ③ シルバー縦軸パイプ・・・1本
- ④ 滑車付金具・・・1ヶ
- ⑤ 滑車付金具止めボルト・・・1ヶ
(ワッシャ2枚・緩ナット付)
- ⑥ 滑車付金具止めナット・・・1ヶ
彎曲ワッシャ・・・1ヶ
- ⑦ どこでもスタンド・・・1セット
(どこでもスタンド内の張り網内蔵、ハーケン、張り網は使用しません。)
- ⑧ ポール・・・1組
(組立全長5.3m)
- ⑨ ボルト・ナット
※ナットは1ツ予備
(ボルトの長さは全て異なります)
- ⑩ スパナ・・・1ヶ
- ⑪ 引き上げロープ(フック付)・・・1ヶ
- ⑫ グリーン横軸パイプ・・・1本
- ⑬ 白ロープ・・・1ヶ
- ⑭ リング・・・4ヶ
(リングの形状が異なるタイプもございます。)

組み立て順序

1 掲揚器の組み立て

1 回転球を広げます。
2 左側の様な状態にして出来るだけ球形にして下さい。下端を上に向すと丸くなります。
3 右側の様に 回転球キャップ(金色)を、広げた回転球上部に差込み、各々の溝にはめ込みます。
4 リングを軸の上部の横穴に差し込んで固定して下さい。

③のシルバー縦軸パイプに上図の軸付回転球と④の滑車付金具を差し込み⑤のボルトと⑥の彎曲ワッシャを入れて、ナットでそれぞれ固定してください。

2 どこでもスタンドの組み立て

⑦のどこでもスタンド内の組立説明書を参照してください。

3 ポールの組み立て

⑧のポールの先端から⑨の短いボルトの順に、⑩のスパナで組み立ててください。
※ゆるみ止めの特殊ナットのため、スパナとドライバーを使って締めてください。締め過ぎるとポールを傷つける恐れがあります。

4 掲揚器と引き上げロープの取り付け

掲揚器に⑧の組み上げたポールを差し込み、⑪の引き上げロープを取り付けてください。
(風方向で回転するため、差し込むだけです。【ポール先端の穴は使用しません】)

5 どこでもスタンドとポールの接続

どこでもスタンドで接続しているポール本体最下部(図2)と組み上げたポール部品を接続してください。

6 幟旗の取り付け

⑫のグリーン横軸パイプに幟旗を引取り付け、⑬白ロープを上図の様に取り付けてください。

7 完成図

幟旗を取り付けた⑫のグリーン横軸パイプに、⑬の引き上げロープのフックを取り付けてください。
幟旗を掲げながら、⑭のリングを適当な間隔でからませてください。※幟旗のバランスは⑭の白ロープで行ってください。

●どこでもスタンドは斜面を避け、平らな場所に設置してください。
●組み立て中に万一、ポールが倒れた場合を考え、周囲の安全をご確認の上、組み立てを始めてください。
●ポールはアルミ製のため、電線に触れない様ご注意ください。
●強風の場合は幟旗をポールから降ろしてください。

日本鯉のぼり協会会員

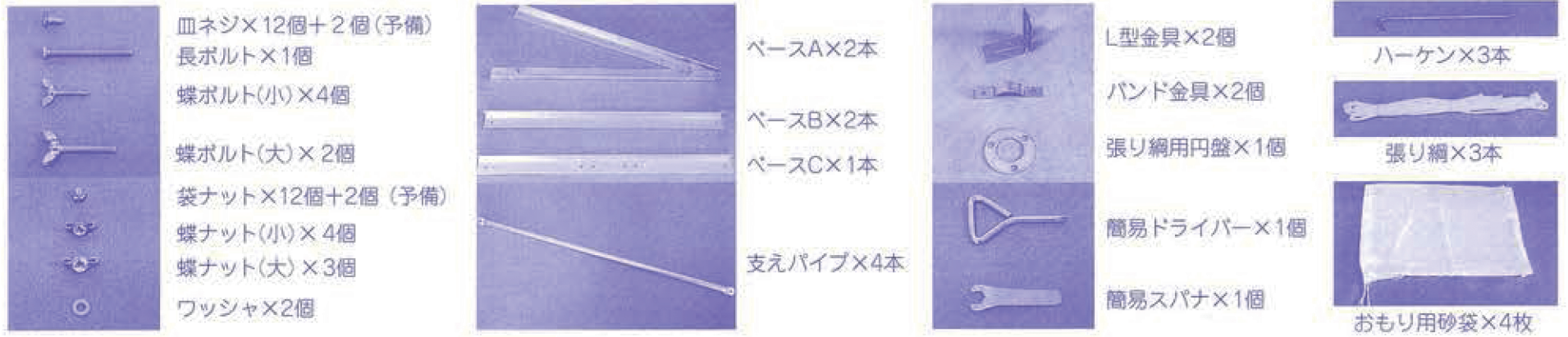
製造  株式会社 中須

〒557-0063 大阪市西成区南津守5丁目1-32
TEL: 06-6656-0200
FAX: 06-6656-0300

どこにでも設置できる アルミ製どこでもスタンド 組立・使用説明書

(対応ポールサイズ ●最下部直径…35～55mm ●ポール全長…8m以下)

部品確認

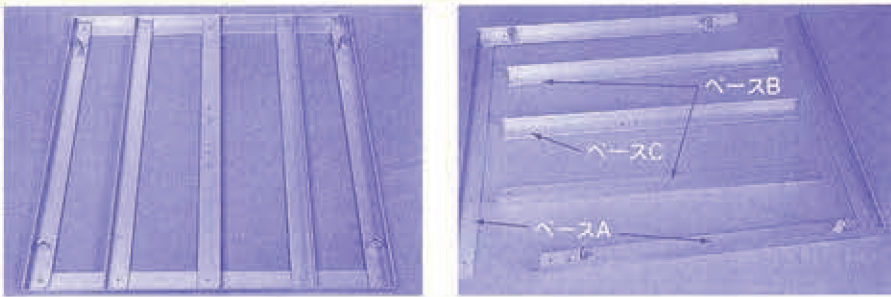


組立順序

(簡易ドライバー、スパナでしっかりと組み立てて下さい。)

ご注意 シーズンが終わって収納される時は、砂袋から、ブロック又は、砂を取り出して、ご収納下さい。

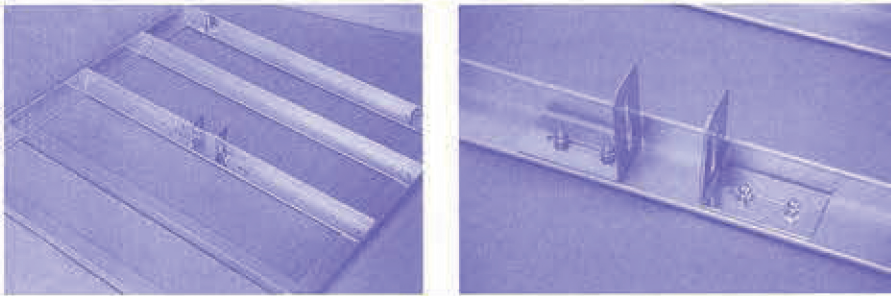
1



ベースの組み立て

ベースA(2本)、ベースB(2本)、ベースC(1本)で組み立て。
※血ネジ、袋ナット〔各8個〕使用。

2

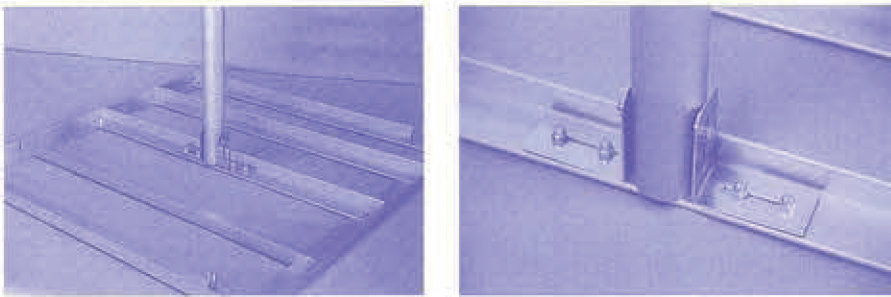


L型金具の取り付け(2個)

ベースCの中心部にL型金具(2個)を取り付け。
この時、ポールの最下部部分(最も太いポール)を取り出し、最下部の幅に合わせて、取り付け。
※血ネジ、袋ナット〔各4個〕使用。
ワッシャは使いません。



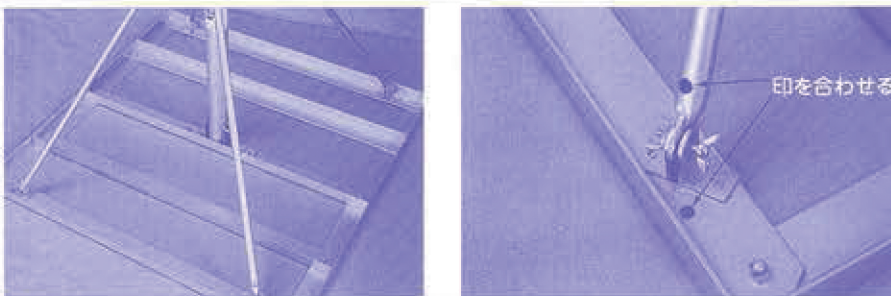
3



鯉のぼりのポール本体最下部(最も太いポール)のみの取り付け

ポールに合わせて取り付け。
※長ボルト、蝶ナット(大)〔各1個〕、ワッシャ〔2個〕使用。

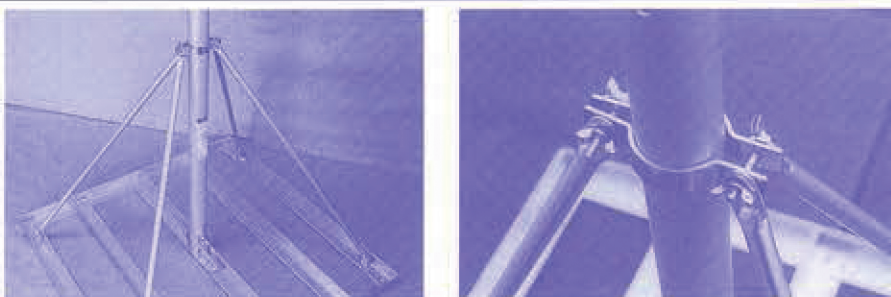
4



支えパイプの取り付け(4本)

ベース四隅の金具に支えパイプの印(例えば、赤印部分と赤印部分)を合わせて取り付け。
※蝶ボルト(小)、蝶ナット(小)〔各4個〕使用。

5



バンド金具の取り付け

ポールと支えパイプを固定。その際には必ず写真の様に支えパイプはバンド金具の外側に取り付けて下さい。
※蝶ボルト(大)、蝶ナット(大)〔各2個〕使用。

6

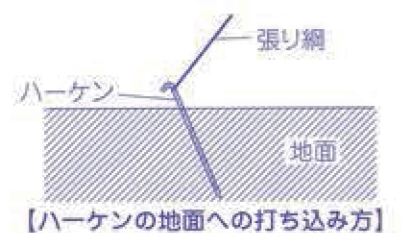
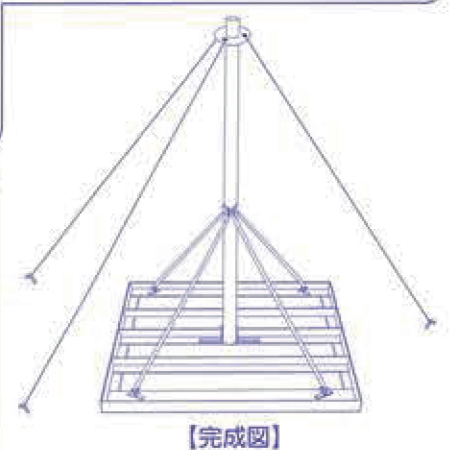
おもりによる補強

おもり用砂袋に土を入れて、ベースの上に均等になるよう四方にのせて下さい。
砂袋の個数が多い程丈夫になります。
土が用意できない場合は、コンクリートブロックを袋に入れて4個以上のせて下さい。

7

張り網による補強

張り網用円盤をポール本体に入れて、必ず張り網とハーケン(各3本)で固定して下さい。
(ポールを立てる前に、張り網用円盤を下から2m位のポールの継ぎ目に入れて下さい。)
※ハーケンは斜めに地中に打ち込んで下さい。



鯉が、矢車やポール等にからんだ時

……おもりと張り網をはずして、そのまま横倒しにすると簡単に修復できます。

(注意) 強風の場合は鯉をおろして下さい。